

平成 28 年度 新潟県シニアサッカーリーグ大会 運営要項

平成 28 年 3 月 21 日承認

1. 名 称 平成 28 年度新潟県シニアサッカーリーグ 0-35、0-40、0-50、(0-60)
2. 主 催 一般社団法人 新潟県サッカー協会 シニア連盟
3. 主 管 シニア連盟 新潟県シニアリーグ担当
4. 期 日 平成 28 年 4 月～10 月
5. 会 場 新発田中央公園・新津金屋運動広場・鳥屋野球技場・グランセナ新潟・太夫浜球技場・サルビアパーク・長岡ニュータウン運動公園・柿崎総合運動公園・ユートピアくびき
6. 参加資格 0-35:満 35 歳以上
1981 年(昭和 56 年)4 月1日以前に生まれた者とし、かつ日本サッカー協会登録選手
によって構成されたチームとする。
0-40:満 40 歳以上
1977 年(昭和 52 年)4 月 1 日までに生まれた者とし、かつ日本サッカー協会登録選手
によって構成されたチームとする。
0-50:満 50 歳以上
1967 年(昭和 42 年)4 月 1 日までに生まれた者とし、かつ日本サッカー協会登録選手
によって構成されたチームとする。
7. チーム数及び
試合方法 0-35:6 チーム、0-40:12 チーム、0-50:6 チーム、(0-60:2 チーム)
各リーグ戦方式とする。但し、0-35 及び 0-50 は 2 回戦総当たりとする。
8. 参 加 費 0-35/0-40/0-50:¥25,000 円、(0-60:¥15,000 円)
9. 試合形式 (1)0-40 は 1 回戦総当り、0-35/50 は 2 回戦総当り戦とし、順位を決定する。
(2)試合時間は、0-35/40:25-5-25 分、0-50/60:20-5-20 分とし、試合毎のインターバルは 10 分とする。
(3)勝ち点は以下のとおりとする。
勝 : 3 分 : 1 負 : 0
同点の場合、①得失点差 ②総得点 ③当該チーム同士の対戦成績
④抽選で順位を決定する。
10. 競技規則 平成 28 年度日本サッカー協会制定のサッカー競技規則による。
試合開始 30 分までにメンバー表 2 枚(シニア専用紙)を本部へ提出すること。
選手交代については、再交代を適用する。但し、第四審判に交代を告げセンターライン付近より出入を行うものとする。
本大会において退場を命じられた選手は、次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については、本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。
本大会期間中、同一カテゴリーにおいて、警告を 2 回受けた選手は、次の 1 試合に出場することができない。(但し、警告の累積は本大会で消滅とし、退場・退席による未消化の出場停止処分も本大会にて消滅とする。)
11. 審 判 審判は帯同審判制とし、各チーム所属の審判員は割り当てられた試合の審判を行う。
審判員は、主審、副審、第四審との間で十分な打ち合わせの後、審判業務を行うように心掛ける。主審は、試合結果を審判報告書に記載し、次試合主審に引継ぐ。審判報告書用紙及び当番報告書用紙は、第一試合の主審が会場に持参する。
審判員は審判服を着用し、3 級有資格者が望ましい。※別紙「運営留意点」参照
12. 当 番 第一試合出場チームは当日、会場管理者に使用の手続きをとり、会場を設営する。最終試合出場チームは後片付け、会計担当と協力し、使用料納入の手続きを行う。
13. 結果報告 最終試合の主審及び第四の審判員担当チームが、「結果報告書:エクセル版」を作成し、メールで報告する。
報告先/県シニアリーグ担当 若杉俊則(バース)
14. 表 彰 0-35、40、50 各リーグ優勝チームには優勝カップ(持回り)並び賞状を授与する。0-40 優勝チームには当該年度新潟県シニア連盟カップの出場権を与える。

平成 28 年度 新潟県シニアサッカーリーグ
運営留意点 (H28.3.21 確認事項)

新潟県サッカー協会 シニア連盟

■進行管理

(1)試合時間

35/40 以上リーグ=25-5-25 分、50/60 以上リーグ=20-5-20 分(試合毎のインターバル 10 分)

(2)グラウンド設営・後片付け

グラウンド設営:第一試合出場の両チームで協力して設営する。

後片付け:最終試合の両チームが協力して片付ける。

(3)試合前の点検

主審、副審、四審は共同で試合開始 10 分前に、メンバーチェック・用具点検を開始すること。

次試合との時間余裕がないことから、出場チーム・審判チームとも時間を厳守すること。

両チームのユニフォームについては、対戦チーム責任者にて試合前までに決定すること。

(4)審判の服装

①主審、副審、四審とも、必ず審判服を着用すること。(ワッペン共)

②主審チームは責任を持って、審判予定者の着替えを迅速に進めること。

③四審のみは試合開始後の着替えを、やむ得ないものとする。

(5)チームベンチ

ピッチ上本部(第四審判席)からフィールドに向かって、ホームチーム(H)は左側とし、アウェーチーム(A)は右側とする。

(6)使用ボールと空気圧

0-35/0-40使用球 : ヴァンタツジオ 5000(F5V5000) 0.9bar(900hPa)

0-50 使用球 : ヴァンタツジオ 3050 軽量 400g(F5V3050-LR) 0.8bar(800hPa)

(7)その他

競技者の数が 7 人未満などで試合が成立しない場合は、当該チームは当年度最下位となり、シニア連盟に罰金(¥20,000 円)を納入し、併せてシニア連盟の懲罰規定の対象とする。

■審判の有資格者について

平成 28 年度は「審判員は 3 級有資格者が望ましい」と規定しているが、平成 29 年度以降は全参加チームにおいて、3 級審判員を 2 名以上配置すること。ただし、試合運営において主審は 3 級審判員以上とするが、副審及び第四審は 4 級審判員以上とする。

■審判記録の報告と管理について

①第一試合の主審及び第四の審判員担当チームが、「審判報告書及び当番報告書」をプリントアウトして会場に持参すること。

②第四の審判員が、前の試合内容の記載漏れがないか確認し、次の試合に引き継ぐこと。

③最終試合の主審及び第四の審判員担当チームが、「結果報告書(エクセル版)」を作成し、メールで報告すること。「審判報告書及び当番報告書」の原本及びメンバー表は、シーズン終了まで責任をもって保管すること。

④会場内で問題となった事項等があった場合は、「特記事項」に記載すること。

⑤試合結果を速やかに順位表に反映するため、(原則)試合終了後の翌日に送信すること。